



北海道中標津支援学校 学校だより

令和6年度第5号 2025年3月24日発行

〒086-1053 北海道標津郡中標津町東13条北7丁目15番地2

TEL(0153)72-6700 FAX(0153)72-6701

HPアドレス <http://www.n-koyo.hokkaido-c.ed.jp/>



1 年を振り返って

校長 渡辺 裕人

今年度は、3年間の中期目標「地域に必要とされる学校になる」を実現するための2年目、中間年として、地域との連携を深め、学校の活動を地域に浸透させるための試行と具現化の足がかりを模索してまいりました。

1学期、2学期と児童生徒は校内外の活動や町内の様々な方々との取組を通して、素晴らしい経験をさせていただきました。これらの経験を重ねるたびに様々なチャレンジをする児童生徒に確かな成長を感じることが出来ました。

また、学校として様々な危機管理を見直す契機となったできごともありました。まずは校内体制を再確認し、組織対応を基本とした体制づくりを加速させたいと考えております。

来年度は中期目標3年目「ジャンプ」の年です。これまでの取組をさらに発展させ、地域と共に歩む学校づくりを推進してまいります。皆さまのご理解、ご協力に心より感謝申しあげるとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申しあげます。

高等部証書授与式

高等部主事

今野瑞樹

3月7日に高等部27期生25名の生徒が本校を卒業しました。

本校高等部に普通科が開設されて初めての卒業式となりましたが、全員が学校長から卒業証書を受け取り、これからの社会参加と自立に向けて目を輝かせる様子が見られました。在校生代表による送辞では、同級生や下級生からの視点を中心とした3年生との思い出、卒業生代表による答辞では、自分たちの成長やそれに関わってくれた方々への感謝の言葉が述べられました。

今年度から感染症対策の軽減により、来賓の参加人数も増えて、本校PTA、中標津町教育委員会に加え、東中町内会、中標津支援学校後援会、中標津支援学校学校運営協議会、中標津町内の福祉事業所等、8名の来賓に御参列いただきました。その他にもこれまでに関わっていただいた関係者の方々や卒業生などに見送られ、笑顔と涙にあふれた素晴らしい卒業式となりました。



小学部第5回中学部第5回卒業証書授与式

小学部主事 内田佑介

3月14日（金）に、小中学部の卒業証書授与式が行われました。今年度は、小学部6年生の3名と、中学部3年生の2名が、それぞれの学部を卒業しました。卒業生5名は、前日まで、証書の受け取り方や挨拶の仕方などいろいろなことを学習し、式当日を迎えました。当日は多くの人に見守られ、練習とは違った緊張感がありましたが、卒業証書の授与や記念品の受け取り、答辞の挨拶など、多くの場面で、卒業生の素敵な姿が見られました。

来賓には、本校PTA副会長をはじめ、東中町内会長や中標津町教育委員会の委員の方、中標津青年会議所の副理事長の4名に御臨席いただきました。在校生からは、お祝いのメッセージ動画や送辞の挨拶が送られました。

式後には見送りセレモニーが行われ、在校生や小中学部の職員だけではなく、高等部の職員や寄宿舎の指導員など、様々な人から祝福され、保護者の方々と素敵な笑顔で下校していきました。卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。



令和6年度 退職・転出教職員一覧

退職・転出教職員			転出先等
平井	孝和	教頭	退職
葛西	良文	教諭	釧路養護学校
工藤	美愛	教諭	東川養護学校
田中	早穂	教諭	室蘭養護学校
河村	ゆりか	教諭	中札内高等養護学校幕別分校
熊田	信一郎	教諭	退職
大石	梨乃	教諭	釧路養護学校
森川	学美	教諭	紋別養護学校ひまわり学園分校
佐竹	将充	実習担任教諭	中札内高等養護学校
福岡	早	実習助手	中標津高校
高橋	綾	寄宿舎指導員	中札内高等養護学校
金子	絢香	寄宿舎指導員	白樺高等養護学校
相澤	康平	寄宿舎指導員	退職
和島	裕司	事務長	登別明日中等教育学校
飯島	梨恵	主任主事	紋別高等養護学校
洲上	健太	主事	石狩教育局

退職・転出教職員			転出先等
金子	拓朗	教諭	任期満了
白石	武義	教諭	任期満了
朴	留果	教諭	任期満了
大津	里菜	教諭	任期満了
白石	博士	寄宿舎指導員	任期満了
田中	美月	寄宿舎指導員	任期満了

お世話になりました

